

特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
2014年度第2回常任委員会 議事録

- 1 日時：2014年5月26(月)午後4時～午後7時
- 2 場所：東京都千代田区大手町1-6-1大手町ビル地下1階B118区JPF事務局会議室

3 出席者の確認

常任委員総数7名のうち、常任委員会の成立要件である3分の2以上の出席が満たされている旨の報告がされ、本会の成立を確認した。

常任委員

NGOユニット：木山啓子

NGOユニット：橋本竹子

外務省：江原功雄

経済界：斎藤仁

学識経験者：石井正子（欠席につき表決権委任：椎名事務局長）

代表理事：有馬利男

事務局長：椎名規之

オブザーバー

外務省：国際協力局 高杉政策課長、本田

SCJ：吉田

議長は、常任委員会規約の第3条により事務局長が務める旨を確認した。

4 第一部：審議事項

- (1) 第一号議案：第1回常任委員会議事録の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。
承認。
- (2) 第二号議案：新規加盟団体への新規カテゴリー付与について
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。
・国際インフラパートナーズ：承認（カテゴリー1付与）

5 第一部：報告事項

- (1) 事務局運営費（2013年度決算）の報告
事務局より、事務局運営費（2013年度決算）について報告した。
- (2) 承認済終了報告書の訂正について
事務局より、承認済終了報告書の訂正について報告した。
- (3) UNHCR/JPF共催シンポジウム「シリア危機:失われた世代にしないために-子どもたちの現状」
事務局より、5月17日開催のUNHCR/JPF共催シンポジウム「シリア危機:失われた世代にしないために-子どもたちの現状」について報告した。（出席者:330名）
- (4) NGOユニットからの報告
NGOユニット幹事より、NGOユニットの活動状況について報告した。

第二部：審議事項

(1) 第一号議案：ミャンマー少数民族帰還民支援にかかる事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① NICCO：カレン州におけるプライマリ・ヘルスケアと衛生環境改善支援事業（第2期）
（政府支援金）

条件付き承認

- ・防疫専門家の派遣については、自己資金にて対応する。
- ・エコサントイレについて、
 - 1) 住民との事前協議について詳細を提示する。
 - 2) 中央もしくは州政府のトイレ設置に関する方針・基準との整合性を確認する。
 - 3) 団体の今後の計画・見通しについて、公共性も踏まえた上で提示する。

② PWJ：カレン州村落部における水供給支援（第2期）（政府支援金）

条件付き承認

- ・ログ・フレームを見直す。
- ・想定されている事業地のリストを提出する（村落の基礎データ等を含む）。
- ・給水施設の維持管理について、具体的に内容を詰める。

(2) 第二号議案：アフガニスタン・パキスタン人道支援にかかる事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① CWS：バーミヤン州バーミヤン市チルドレン・リハビリテーション・センター（CRC）
におけるノンフォーマル教育及びその普及事業（政府支援金）
申請取下げ。

(3) 第三号議案：南スーダン緊急支援2014にかかる事業計画の承認
審議の結果、全会一致で以下の通りとした。

① AAR：東エクアトリア州における給水設備整備、簡易診療所整備、及び基礎教育支援
（政府支援金）

承認。

② JEN：中央エクアトリア州イエリバー郡のコミュニティにおける水・衛生改善活動を通じたレジリエンス強化事業（政府支援金）

再提出。

③ PLAN：ウガンダアジュマニ県 南スーダン難民の子ども保護および水・衛生環境改善
事業（政府支援金）

承認。

④ JCCP：南スーダン共和国中央エクアトリア州ジュバ市および近郊におけるジェンダー
に基づく暴力被害者支援・予防促進事業（政府支援金）

承認。

7 書面による報告

(1) 事務局より、書面をもって以下を報告した。

来月度以降、③メール審議結果の報告、⑤コア・チームの報告、⑦終了報告書審議結果の報告、
は書面による報告から割愛する。

- ① 政府支援金と民間資金財務状況の報告
- ② 事業計画変更の報告
- ③ メール審議結果の報告
- ④ 固定資産処理の報告
- ⑤ コア・チームの報告
- ⑥ JPF事務局審議結果の報告
- ⑦ 終了報告書審議結果の報告

(2) 次回の開催日時と会場について

会場をJPF事務局とし、以下の日程で常任委員会を開催することを確認した。

2014年度第3回常任委員会：2014年6月25日（水）16時より 麴町GN安田ビル4F

以上